

令和元年度第1回産業振興ビジョン推進委員会会議要旨

実施日：令和元年5月15日10時00分～11時30分

出席者：別紙のとおり

区分	内容
平成29年度産業振興ビジョンアクションプランの評価結果について	<ul style="list-style-type: none">・産業振興ビジョンの作成のみならず進捗状況、点検をする。PDCAをまわしながら進捗状況の管理をし、自己点検を行う前に専門委員に評価をしてもらい、資料の作成を行った。・平成29年度アクションプランの評価方法の概要と議論になったところ、評価が悪かったところを中心に説明を行った。・評価シート（農業、工業、商業、観光）の概要は、103の事業の活動資料を基に、専門家に評価をしてもらった結果、A評価は92事業（89.3%）、C評価は5事業（4.8%）であった。・評価チームからの意見として、分野別では、農業部門では意見なし、工業部門では、人材確保が中小企業での一番の問題である。商業観光部門では、松井山手のビジネスホテルの進出、JR東海キャンペーン一休寺の参拝客増加を一時的にだけでなく、今後につないでいけるように方策をたてる必要がある。
各員から推進委員会全体を通しての意見・感想	<ul style="list-style-type: none">・どの部門でも、担い手育成が大きな課題である。・工業のサービス化、農業の6次産業化というサービスが中心となる産業連携が重要である。・分野ごとに連携していくことは難しいが、連携していく必要がある。・後期計画的予備調査については、実際に職員が直接現場に出向いて意見を反映させていく、調査していくのが基本である。・高速道路も開通して、車という手段であるが立ち寄りやすい場所で、土地の使い方としては、使える土地も少なくなってきたが、その中でも工夫して今度は平面的ではなく、立体的にどうするか、暮らし産業を立体的に考えていくようなビジョンづくりをしていかないといけないのでは。